

記憶に残るジオパーク体験（南伊豆町立南伊豆中学校）

南伊豆中学校1年生がタライ岬遊歩道（下田市田牛～南伊豆町湊）を歩き、ジオガイドに自然や文化の特別な話を教えてもらいました。今回は、学校での事前学習と校外学習をセットで授業を行いました。事前学習では、伊豆半島を舞台にした大地が動いている話、薩埵峠（さったとうげ）の浮世絵の話、ハワイの溶岩の話の話を聴きました。自分たちの住んでいる伊豆半島がプレート移動により本州に向かって動いていることや、その動きが浮世絵に見てとれること、よく耳にするハワイでは自然を利用したツアーがあることなど、教科書では学べないけれども生活に密接にかかわっていることを学習しました。

弓ヶ浜の砂をルーペで観察



逢ヶ浜の放射状節理の前で

『伊豆半島のひみつ』お届けします

昨年、一昨年と伊豆半島ジオパークを構成する15市町の小学校5年生または6年生（市町ごとに異なります）向けに配布しました『伊豆半島のひみつ』今年も配布します。

伊豆半島ジオパークとはどういうものなのか、という概要を、マンガでやさしく解説している入門編の一冊です。配布対象は小学校高学年ですが、他学年や中学校での講演・出前授業での配布、また全校配布をしている地域もあります。授業で使ってみたい、どんなものか内容を読んでみたい、などご要望がございましたら、冊子をお送りいたします。推進協議会事務局までお気軽にお問い合わせください。



『伊豆半島のひみつ』



スライドを使った事前学習の様子

校外学習では、弓ヶ浜の砂鉄を実際に集めたり、逢ヶ浜の放射状節理（通称：さとり岩）で拝む真似をしてみたり、自然の科学について忘れられない記憶に残る体験をしました。特に、弓ヶ浜の白い砂を50倍ルーペで観察した生徒は、「きらきらしてきれい」と言って喜んでいました。ガイドさんは「ガラスの成分がふくまれているんだよ」と教えてくれました。地質に含まれているガラスの成分が砂に混ざってきれいな見た目を作っているという事は、そう聞けば、当たり前のことかもしれませんが、今回の生徒はきっと忘れないことでしょう。

後日、新聞形式で今回の学習の内容をまとめます。生徒がどの内容に着目してまとめるか楽しみです。

（南伊豆町企画課 黒田）

天城を学ぶ「天城学習」

昨年度に続いての天城中学校2年生のフィールドワークを行いました。天城中学校では、総合で「天城」をテーマにした「天城学習」という取り組みがあります。今回は防災学習の一環として、景色や地形図から災害の痕跡を読み取ったり、地形の利用を考えたりしました。

今回は伊豆市湯ヶ島の長野地区にある、荒原の棚田を見学しました。教室を出て、川を渡り、周囲の地形を確認しながら赤色立体地図を使い、現在地はどこかな？との問いかけに、先生方も一緒に場所を探します。中には「ブラタモリ」が大好きで毎回視聴しているという生徒もいて、地図を見ながらこれ河岸段丘？などと専門用語も飛び出す、活気のある課外授業となりました。



赤色立体地図で現在地を探そう

出前授業、はじまりました

今年度も出前授業がはじまりました。昨年度は各市町の学校を訪問・またはジオリアの展示を使つての授業・講演、フィールドワークを行った回数は40件。割合としては、小学校が約7割を占め、残りを中学校・高等学校での授業やフィールドワークとなっています。

年度初めの4月後半にユネスコ世界ジオパークとなり、全国ニュースで取り上げられたことから「ジオパークを使って地域学習の取り組みをしてみたいがどうすればよいか」「教科書の内容と連動して何かできないか」「話題になっているので、これを機会に生徒にジオパークを学んでほしい」など、先生方からのお問い合わせや出前授業の依頼が増えています。

推進協議会が行う出前授業は、決まった形がありません。事前に担当の先生との打ち合わせを行い、授業方針やご希望のテーマなどをうかがいます。

伊豆半島ジオパークは面積が広く、児童・生徒が暮らす土地の特性や地形のなりたちも個々の市町で大きく異なります。そのため、授業の内容（教科書の内容に関連させて／その土地のでき方・地元のジオサイトを知りたい、など）から講演・授業・実験・遠足とあわせて、等の実施形式や授業時間（1コマ～1日）また、フィールドワークのジオサイト選定、地域学習との連携など、学校、学年、クラスやグループ単位のきめ細かな対応が可能です。詳細につきましては、事務局までご相談ください。



授業例：ジオリアの展示を使ったもの



授業例：水槽を使った火山実験



F W例：学校近くのジオサイト



F W例：授業の成果を一般の方を対象としたツアーの形での発表



南伊豆町のジオサイト紹介

三島南中学校での講演

三島南中学校でジオパークに関する講演を行いました。「伊豆半島ジオパークの楽しみ方」というタイトルで、みんなが住んでいる三島の大地はどうやってできたんだろう？という、富士山の噴火の歴史に関する説明から、そもそも「火山」とはどういうもので、噴火によって人々の生活に何がもたらされるのか、また伊豆半島ジオパークの中にはどんな種類の火山が存在しているのだろうという流れを、スライドを使ってわかりやすく説明しました。

加えて、今後横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園（南伊豆町子浦）での課外学習が計画されているとのことから、近隣の子浦三十三観音などの南伊豆町内のジオサイトについても説明・紹介を行いました。

編集後記

教育担当松永の後任となりました。事務局に勤務する前は、ジオガイドとして幼児からご高齢の方まで幅広いお客様にジオパークをご案内していました。ジオツアーやイベントによっては、生涯教育に分類されるものもありますが、学校の教育に携わるのは個人としては初めてのことです。

現在は教育冊子の配布について各市町の教育委員会や学校を訪問しています。児童・生徒のみなさんだけでなく、先生方のご要望にもできる限りお応えしたいと思います。よろしくお願いします。（事務局 内藤）